

入札案件概要書

【 **コンサル** ・ 一般委託 ・ 物品 】

件名	平成29年度新ごみ処理施設周辺道路測量調査業務委託	契約番号	19
履行期間	平成 29 年 5 月 29 日～平成 29 年 7 月 31 日		
履行場所	海老名市本郷地内		
予定価格(税抜)	一 金 2,700,000 円		
参加条件	参加の地域要件	第1区分	地域要件は入札公告で確認してください。
	指定業種	304 測量	細目
			細目
	手持契約件数制限	なし	
	低入札調査基準価格	予定価格の50% 低入札調査基準価格については、告示第3号「8 低価格入札による履行確認調査」を参照してください。	
	必要とする資格等	○会社としての登録 測量業の登録があること	
○測量法第48条に規定する測量士 ※一般競争入札参加資格確認申込書送付時に資格証の写しを併せてFAX送付すること。			
その他の要件			
業務の概要	本業務は、新ごみ処理施設建設工事に伴い、一般車両等の上下同時通行が可能な道路を設計及び工事するのに必要な現況の平面図を作成し、10mメッシュ及び監督員の指示があった箇所の標高を計測し、図面に記載する。 また、一般車両等の上下同時通行が可能な幅員を確保した路線測量を行う。 詳細は、平成29年度新ごみ処理施設周辺道路測量調査業務委託仕様書を参照してください。 入札額に、消費税及び地方消費税額は含みません。 落札にあたって、契約金額は、落札額に消費税及び地方消費税額を加えた金額とします。 ※入札書、委任状は別添の様式を使用してください。		

条件付一般競争入札参加資格確認申込書

平成 年 月 日

高座清掃施設組合
組合長 内野 優 殿

認定番号

所在地

商号又は名称

代表者職氏名

担当者名

電話番号

e-mailアドレス

F A X 番号

使用印

入札に参加したいので、次のとおり申します。
なお、この参加申込書及び添付書類の全ての記載事項は、事実と相違ありません。

契約番号 19

件名 平成29年度新ごみ処理施設周辺道路測量調査業務委託

(高座清掃施設組合 総務課 契約担当
e-mail : keiyaku@kouzaseisou-kanagawa.jp
F A X : 046-238-6010)

※通信欄（二日以内に返信します。）

- 申込書を受け付けました。「条件付一般競争入札参加資格確認通知書」は、審査後電子メール又はFAXで送付します。
- 書類が不足しています。入札公告等を確認して再申請してください。
- _____

組合の確認 (記入不要)		
地域	第1区分	
業種	304測量	
評点		
その他		

入札書

平成 29 年 5 月 22 日

高座清掃施設組合
組合長 内野 優 殿住 所
商号又は名称
代表者職氏名
代理人氏名印
印

高座清掃施設組合契約規則を堅く守り、次の金額
で入札します。

件名	平成29年度新ごみ処理施設周辺道路測量調査 業務委託											
金額	千	百	十	億	千	百	十	万	千	百	十	円

落札にあたって、契約金額は、落札額に消費税及び地方消費
税額を加えた金額とします。なお、消費税率は、8%とします。

- (注) 1. 金額は、消費税及び地方消費税額を除いた額を記入してください。
2. 金額は、1つの枠に1字ずつアラビア数字で記入してください。
なお、金額の訂正したものは無効とします。
3. 入札の際は、入札書を二つ折りにして入札箱に投函してください。



契約番号

19

委 任 状

平成 29 年 5 月 22 日

高座清掃施設組合

組合長 内野 優 殿

委任者 住 所

商号又は名称

代表者職氏名

印

件 名 平成29年度新ごみ処理施設周辺道路測量調査業務委託

今般私は、次の者を代理人と定め、上記の件に関する入札の一切の権限を委任します。

代理人氏名	被委任者印鑑



質 問 書

高座清掃施設組合契約担当 殿

設計図書に関して、質疑がある場合は質疑内容を記載し、電子メール又はFAXで送信してください。

○ 送信日時 : 入札公告を確認してください。

○ 送信先 : 高座清掃施設組合 総務課 契約担当

e-mail : keiyaku@kouzaseisou-kanagawa.jp

F A X : 046-238-6010

○ 回 答 : ホームページに順次掲載します。

認定番号		電話番号	
所在地		e-mailアドレス	
商号又は名称		F A X 番号	
代表者職氏名		担当者名	

契約番号	19
契約件名	平成29年度新ごみ処理施設周辺道路測量調査業務委託
質 疑 内 容	

平成29年度
新ごみ処理施設周辺道路測量調査業務委託

仕様書

高座清掃施設組合

1. 摘要

本仕様書は、高座清掃施設組合（以下、「組合」という。）が発注する「平成29年度新ごみ処理施設周辺道路測量調査業務委託」（以下、「本業務」という。）について必要な事項を定める。

本業務の実施にあたっては、本仕様書のほか公共測量作業規定（国土交通省）に基づき実施すること。共通仕様については、神奈川県発行の測量・調査・設計業務共通仕様書を適用する。

2. 目的

本業務は、新ごみ処理施設周辺道路改良工事に関する現況平面図、縦断面図、横断面図の作成等を目的とする。

3. 業務概要

- (1) . 測量場所 海老名市本郷地内
- (2) . 期 間 平成29年5月29日から平成29年7月31日まで
- (3) . 内 容 4級基準点測量、現地測量、線形決定、IP設置、中心線測量、仮BM設置測量、縦断測量、横断測量

4. 作業内容

- (1) 作業計画
 - ア. 作業計画：作業内容の確認、必要資料等の収集、工程、使用機材等を準備する。
また、作業計画書を監督員に速やかに提出し、承諾を得る。
 - イ. 現地踏査：現地の状況把握、範囲の確認等を行う。
- (2) 4級基準点測量
4級基準点を必要な箇所に選点して設置し、測量の精度を審査する。
- (3) 現地測量
現況の平面図を作成し、10mメッシュ毎に標高を計測したものを図面に記載する。
また、監督員の指示のあった箇所の標高を計測し、図面に記載する。
- (4) 線形決定
IP点を図面上で決定し、IP点の座標を計算する。その後、線形図を作成し、
曲線諸元及び主要点、中心点（20m間隔）の座標を計算する。
- (5) IP設置
IP点を現地に設置する。
- (6) 中心線測量
曲線諸元、主要点、中心点（20m間隔）を現地に設置する。
- (7) 仮BM設置測量
縦断測量、横断測量に必要な水準点（仮BM）を現地に設置し、標高を求める。
- (8) 縦断測量
曲線諸元、主要点、中心点（20m間隔）、中心線上の地形変化点における地盤高を

測定し、縦断面図を作成する。

(9) 横断測量

曲線諸元、主要点、中心点（20m間隔）、中心線上の地形変化点における中心線に対して両サイド直角方向の地盤高、構造物高さを測定し、横断面図を作成する。

また、監督員の指示のあった箇所に関する横断面図を作成する。

5. 成果品

本業務の成果品として次を納入するものとする。 ※1

測量成果簿（正本・副本）	各1部
測量原図（正本・副本）	各1部
打ち合わせ議事録（正本・副本）	各1部
電子データ（CD-R）※2	正副2組
その他監督員が指示するもの	必要部数

※1 取手付きチューブファイルに綴る

※2 各種図面等は jww・sfc・dxf・PDF の計4種。全ての形式で同じ画面が表示されるように修正すること。座標データ等についてはエクセルで使用できるデータを提出すること。

文書データは doc・xls・PDF の計3種。上記図面・座標データとともに、CD-Rで納品すること。

また、電子媒体は納入前にウイルスチェックを行い、且つウイルスチェックの結果報告書を提出すること。（任意様式）

6. 現場作業

作業の際、作業服には受注者の会社名を明示した名札等を付けるものとし、身分を証明できるものを絶えず携帯すること。

7. 報告

打合せ協議のほか、必要において実施する。また、監督員から要請がある場合は速やかに資料を整えて報告するものとする。

8. 守秘義務

受注者は、本業務の遂行にあたり知り得た事項を第三者に漏らしてはならない。契約の解除及び期間満了後においても同様とする。また、成果品すべては発注者の所有とし、発注者の承諾を受けないで他に公表、貸与又は使用してはならない。

9. 資料の貸与

本業務の遂行にあたり、調査すべき諸事項は受注者が行うものとするが、既往調査資料または文献等で組合が所有しているものは業務の必要に応じて貸与する。

受注者は、資料の貸与を受けた場合、そのリストを作成し組合の承認を受けなければならない。
また、貸与された資料は業務完了時にすべて返却するものとする。

10. ISO14001関係

- ・本作業を行うにあたり、「高座清掃施設組合環境方針」を遵守し、次のことに配慮すること。
- (1) 報告書の用紙は再生紙を使用するように努めること。
- (2) 報告書の作成部数は無駄がないように最低限の部数とする。
- (3) 現地調査等で車両を利用する場合は、作業効率を考慮し車両の使用回数を控えるよう検討すること。
- (4) 報告書は可能な限り電子情報での提出とする。
- (5) 調査等に使用する車両は、環境に配慮した車両の使用に努めること。
(例：電気自動車・ハイブリットカー・低排出ガス車等の使用)
- (6) 業務実施時に OA 機器等、電力を使用する際は節電に努めること

11. 履行報告義務

請負者は、着手前と毎月末に履行報告書を提出し、業務進捗状況を報告すること。
尚、様式は指定様式とし、作業工程表を添付すること。

12. 法令の遵守

受注者は、調査の実施にあたっては業務委託契約書及び本業務委託仕様書並びに測量法等その他関係法令を遵守し、業務の円滑な進捗を図ること。また、これらに明記なき事項については、組合と協議のうえ別に定めるものとする。

13. 検査及び納品

受注者は、業務完了にあたり、組合の完了検査を受け、合格した後に所定の部数を納品するものとする。

14. その他

受注者は、本仕様書に明示されていないものでも、本業務の性質上当然必要な事項及び法令により履行しなければならない事項は、組合の指示により受注者の負担で処理すること。

受注者は、本業務の完了後であっても誤測又は業務の失策、不備が発見された場合は速やかに成果品の訂正をしなければならない。これに要する費用は受注者の負担とする。

案内図

新幹線

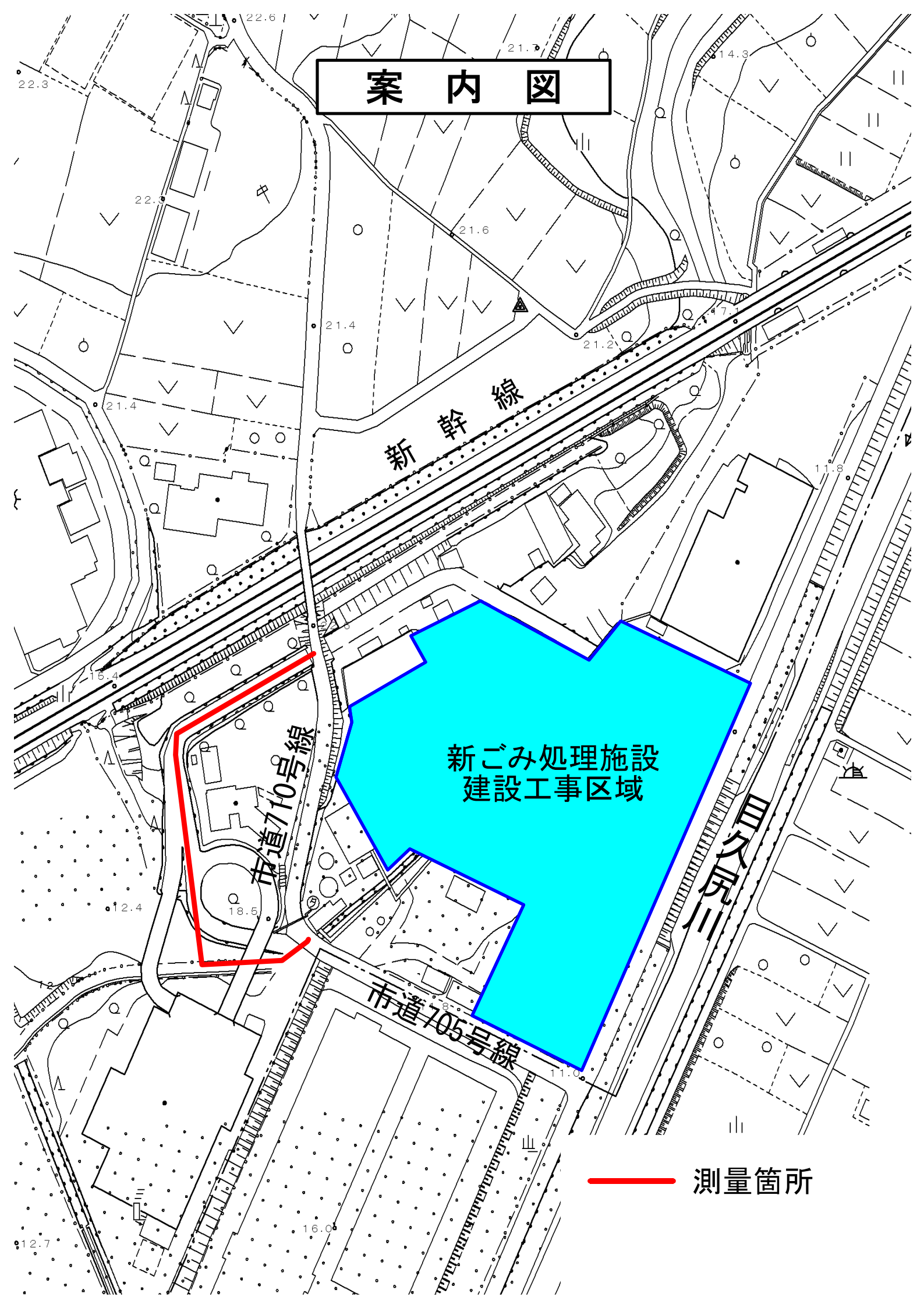
新ごみ処理施設
建設工事区域

市道710号線

市道705号線

市道704号線

— 測量箇所



平成29年度							

委 託 費 設 計 書

件 名

平成29年度新ごみ処理施設周辺道路測量調査業務委託

金

円也

(消費税相当額を含む)

本工事内訳書 (1/1)

測量業務
(地方部一般交通影響なし)

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
基準点測量						
4級基準点測量	新点 伐採なし 都市近郊 丘陵地	点	4			第1号単価表参照
現地測量						
現地測量 (1/250)	都市近郊 丘陵地 作業量0.007km ²	ha	0.7			第2号単価表参照
路線測量						
作業計画		業務	1			第3号単価表参照
現地踏査	都市近郊 丘陵地 1000台未満/12時間	km	0.22			第4号単価表参照
線形決定	都市近郊 丘陵地	km	0.22			第5号単価表参照
I P 設置	都市近郊 丘陵地 1000台未満/12時間 単曲線3ヶ所	km	0.22			第6号単価表参照
中心線測量	都市近郊 丘陵地 1000台未満/12時間 単曲線3ヶ所 20m間隔	km	0.22			第7号単価表参照
仮BM設置測量	都市近郊 丘陵地 1000台未満/12時間	km	0.22			第8号単価表参照
縦断測量	都市近郊 丘陵地 1km当り往復 1000台未満/12時間	km	0.22			第9号単価表参照
横断測量	都市近郊 丘陵地 1000台未満/12時間 単曲線3ヶ所 20m間隔 幅30m	km	0.22			第10号単価表参照
打合せ等	中間打合せ回数4回	業務	1			第11号単価表参照
直接測量費計						
安全費						直接測量費×都市近郊3.0%(都市近郊)
諸経費		式	1			直接測量費計×81.3%
測量業務価格						万円止
消費税及び地方消費税相当額		式	1			8%
請負測量費計						

4級基準点測量

神奈川県設計業務等標準積算基準書(1-2-5)

35点当り

第1号単価表

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量主任技師		人	1			
測量技師		人	8			
測量技師補		人	8			
測量助手		人	8			
機械経費		式	1			直接人件費計×3.0%
通信運搬費等		式	1			直接人件費計×4.0%
材料費		式	1			直接人件費計×3.0%
精度管理費		式	1			(直接人件費等計+機械経費)×0.09
	小計					
	変化率			×1		
計	35点 当り					
	1点 当り					

[伐採区分]=伐採なし、[地域による分類]=都市近郊、[地形による分類]=丘陵地、[地域による変化率]=0

変化率

$$S=1+A$$

A:地域による変化率=0

$$=1+0=1$$

作業計画

神奈川県設計業務等標準積算基準書(1-2-16)

1業務当り

第3号単価表

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量主任技師		人	0.6			
測量技師		人	1.2			
測量技師補		人	0.8			
計	1業務 当り					

線形決定

神奈川県設計業務等標準積算基準書(1-2-18)

都市近郊 丘陵地

1km当り

第5号単価表

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量主任技師		人	0.2			
測量技師		人	1.4			
測量技師補		人	1.4			
機械経費		式	1			直接人件費計×1.5%
材料費		式	1			直接人件費計×4.5%
精度管理費		式	1			(直接人件費等計+機械経費)×0.1
	小計					
	変化率			×1.3		
計	1km 当り					
	1km 当り					

[地域による分類]=都市近郊、[地形による分類]=丘陵地、[地域による変化率]=+0.3

変化率

$$S=1+S1$$

S1:地域による変化率=+0.3

$$=1+0.3=1.3$$

I P 設置

神奈川県設計業務等標準積算基準書(1-2-18)

都市近郊 丘陵地
1000台未満/12時間 単曲線3ヶ所

1km当り

第6号単価表

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量技師		人	1.4			
測量技師補		人	1.3			
測量助手		人	0.8			
機械経費		式	1			直接人件費計×2.5%
材料費		式	1			直接人件費計×6.5%
精度管理費		式	1			(直接人件費等計+機械経費)×0.1
	小計					
	変化率			×1.7		
計	1km 当り					
	1km 当り					

[交通量]=1000台未満/12時間、[単曲線換算曲線数]=14、[地域による分類]=都市近郊、[地形による分類]=丘陵地、[地域による変化率]=+0.3

変化率

$$S=1+(S1+S2+(S3))$$

S1:地域による変化率=+0.3

$$=1+(0.3+0+0.4)=1.7$$

S2:交通量による変化率=0

S3:曲線数による変化率=+0.4

中心線測量

神奈川県設計業務等標準積算基準書(1-2-19)

都市近郊 丘陵地 1000台未満/12時間
単曲線3ヶ所 20m間隔

1km当り

第7号単価表

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量技師		人	3.4			
測量技師補		人	3.6			
測量助手		人	2.8			
機械経費		式	1			直接人件費計×3.0%
材料費		式	1			直接人件費計×8.0%
精度管理費		式	1			(直接人件費等計+機械経費)×0.1
	小計					
	変化率			×1.7		
計	1km 当り					
	1km 当り					

[交通量]=1000台未満/12時間、[単曲線換算曲線数]=14、[測点間隔]=20m、[地域による分類]=都市近郊、[地形による分類]=丘陵地、[地域による変化率]=+0.3

変化率

S1:地域による変化率=+0.3

$$S=1+(S1+S2+(S3)+(S4))$$

S2:交通量による変化率=0

$$=1+(0.3+0+0.4+0)=1.7$$

S3:曲線数による変化率=+0.4

S4:中心線測量の測点間隔による変化率=0

仮BM設置測量

神奈川県設計業務等標準積算基準書(1-2-19)

都市近郊 丘陵地
1000台未満/12時間

1km当り

第8号単価表

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量技師		人	1			
測量技師補		人	1.2			
測量助手		人	0.9			
機械経費		人	1			直接人件費計×2.0%
材料費		式	1			直接人件費計×4.0%
精度管理費		式	1			(直接人件費等計+機械経費)×0.1
	小計					
	変化率			×1.3		
計	1km 当り					
	1km 当り					

[交通量]=1000台未満/12時間、[地域による分類]=都市近郊、[地形による分類]=丘陵地、[地域による変化率]=+0.3

変化率

$$S=1+(S1+S2)$$

S1:地域による変化率=+0.3

$$=1+(0.3+0)=1.3$$

S2:交通量による変化率=0

縦断測量

神奈川県設計業務等標準積算基準書(1-2-20)

都市近郊 丘陵地
1km当り往復 1000台未満/12時間

1km当り

第9号単価表

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量技師		人	1.9			
測量技師補		人	2			
測量助手		人	1.8			
機械経費		式	1			直接人件費計×2.0%
材料費		式	1			直接人件費計×5.5%
精度管理費		式	1			(直接人件費等計+機械経費)×0.1
	小計					
	変化率			×1.3		
計	1km 当り					
	1km 当り					

[交通量]=1000台未満/12時間、[地域による分類]=都市近郊、[地形による分類]=丘陵地、[地域による変化率]=+0.3

変化率

$$S=1+(S1+S2)$$

S1:地域による変化率=+0.3

$$=1+(0.3+0)=1.3$$

S2:交通量による変化率=0

横断測量

神奈川県設計業務等標準積算基準書(1-2-20)

都市近郊 丘陵地 1000台未満/12時間
単曲線3ヶ所 20m間隔 幅30m

1km当り

第10号単価表

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量技師		人	4.9			
測量技師補		人	6.7			
測量助手		人	5.7			
機械経費		式	1			直接人件費計×2.0%
材料費		式	1			直接人件費計×6.0%
精度管理費		式	1			(直接人件費等計+機械経費)×0.1
	小計					
	変化率			×1.6		
計	1km 当り					
	1km 当り					

[交通量]=1000台未満/12時間、[単曲線換算曲線数]=14、[間隔]=20m、[幅(m)]=左右各15m、[地域による分類]=都市近郊、[地形による分類]=丘陵地、[地域による変化率]=+0.3

変化率

S1:地域による変化率=+0.3

$$S=1+(S1+S2+(S3)+(S4))$$

S2:交通量による変化率=0

$$=1+(0.3+0+0.4+(-0.1))=1.6$$

S3:曲線数による変化率=+0.4

S4:横断測量の測量幅及び測点間隔による変化率=-0.1

打合せ協議

神奈川県設計業務等標準積算基準書(1-2-1)

中間打合せ回数4回

1業務当り

第11号単価表

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
打合せ協議	業務着手時	回	1			第13号単価表参照
打合せ協議	中間打合せ	回	4			第14号単価表参照
打合せ協議	成果物納入時	回	1			第15号単価表参照
計	1業務 当り					

[中間打合せ回数(回)] = 4

現地測量 (1/250)

神奈川県設計業務等標準積算基準書(1-2-71)

都市近郊 丘陵地
作業量0.007km²

1業務当り

第12号単価表

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量主任技師		人	0.155			0.5×0.31
測量技師		人	2.17			7.0×0.31
測量技師補		人	5.115			16.5×0.31
測量助手		人	2.48			8.0×0.31
機械経費		式	1			直接人件費計×5.5%
通信運搬費等		式	1			直接人件費計×1.0%
材料費		式	1			直接人件費計×2.5%
精度管理費		式	1			(直接人件費等計+機械経費)×0.05
	小計					
	変化率			×1.7		
計	1業務 当り					
	1業務 当り					

[縮尺]=1/250、[作業量(km²)]=0.007、[地物による分類]=都市近郊、[地形による分類]=丘陵地、[地域による変化率]=+0.7

作業量補正

変化率

$$y = (744.04 \times A + 25.596) / 100$$

$$S = 1 + A$$

$$= (744.04 \times 0.007 + 25.596) / 100 = 0.31$$

$$= 1 + 0.7 = 1.7$$

A: 作業量(km²)=0.007

A: 地域による変化率=+0.7

打合せ協議

神奈川県設計業務等標準積算基準書(1-2-1)

業務着手時

1回当り

第13号単価表

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量主任技師		人	0.5			
測量技師		人	0.5			
計	1回 当り					

[工種] = 業務着手時

打合せ協議

神奈川県設計業務等標準積算基準書(1-2-1)

中間打合せ

1回当り

第14号単価表

種 別	細 別	単 位	数 量	単 価	金 額	摘 要
測量主任技師		人	0.5			
測量技師補		人	0.5			
計	1回 当り					

[工種] = 中間打合せ

